



JOC-MPC プレスリリース

2024年8月10日 2時00分

JOCMPC-24-021

第33回オリンピック競技大会（2024／パリ）

メインプレスセンター（MPC）内JOCオフィス

Tel: +33 (0)9 20 24 05 79

E-mail: pressoffice@joc.or.jp

※本リリースに記載の時間は原則としてパリ時間となります。

件名：第33回オリンピック競技大会(2024/パリ)

トラック スプリント女子 予選・1回戦・2回戦

マディソン女子 決勝

標記の件について、レース結果並びに選手のコメントをお知らせ致します。

記

■日時

2024年8月9日

■会場

ヴェロドローム・ド・サン・カンタン・アン・イヴリーヌ

パリ五輪第15日（9日）、自転車競技トラック スプリント女子予選・1回戦・2回戦と、マディソン女子決勝が行われた。スプリント女子日本代表の佐藤水菜は、予選を7位で通過。その後の1回戦、2回戦もストレートで勝利して、翌日（10日）3回戦に進出。太田りゆは、予選を20位で通過したが、1回戦で敗れて敗者復活戦に回った。しかし、敗者復活戦でも勝ち上がることができずに、ここでレースを終えました。マディソン女子の内野艶和/垣田真穂ペアは、120周回（30km）を先頭と同一周回で走り抜け、貴重な1ポイントを獲得して全体の12位でフィニッシュしました。

佐藤水菜（スプリント）のコメント

「予選では絶対に10秒2を出さなければならなかったと思っていましたし、もっと上を目指していました。結果として自分の現状は10秒2だったので、「嬉しい」というよりは「悔しい」気持ちが先にあります。アジアレコードまで出すことができたのは、まず一つ目標達成でした。対戦の方は、今までの自分の練習、学んだことを活かした走りができたと思います。レースの展開



JOC-MPC プレスリリース

をしっかり見て、セオリー通りにやれました。スプリントは実力のレース。実力のレースでしっかりタイムを出して勝つことができていますので、準備はしっかりできていると思います。その日の最初のレースに自分の中で壁を感じてしまっています。明日はそのセオリーをぶっ壊せるよう頑張りたいです。格上と戦うことになりますが、しっかり勝ち切ってメダル争いに食い込めるよう頑張ります。」

太田りゆ（スプリント）のコメント

「もっと勝ち上がってたくさん走りたかったですが、みんな強くて勝てなくて残念でした。でも悔いのないレースはできたと思います。予選では自己ベストの更新はできませんでしたが、ここ最近では良いタイムでした。対戦は、やはりメンバーもオリンピックらしいもので……フランスのマチルドとのレース（1回戦）では、仕掛けどころはあのタイミングだったと思いますし、思いっきりやった結果でした。望みに望んで掴んだチケットでこの舞台に立ちました。全力で走ることが自分への責任だし、選んでくれた方々にも「選んで良かった」と思っていたるように走ろう、と考えていました。競技者、日本代表としてはこれで引退と、今の段階では考えています。競技者としての私はすごく成長したし強くなったと思いますが、人としても経験値を得た時間だったと思います。今日1日はとても特別な1日でした。SNSなどでは思った以上にたくさんの声をいただいて、暖かい声援が多くて本当に嬉しかったです。ありがとうございました。」

内野艶和（マディソン）のコメント

「まずは無事にスタートすることを嬉しく思います。メダルを目指してここまで来たので、獲れなかったことはすごく悔しいです。前に出ようという意味はありましたが、前の位置をキープできなかったところは悪かったです。それに交代ミスも普段より多くありました。もったいないミスをしたと思います。独特の雰囲気オリンピックなのだなあ、と思いました。始まればあっという間に終わってしまいましたね。本当にメダルを持ち帰りたいと思っていたので、残念だなあという気持ちです。東京オリンピックが終わってから3年やってきて、その結果が一瞬か、とも思います。その「かけてきた時間が一瞬で終わる」というところが、他の大会との一番の違いかもしれません。「次」がすぐ来ない、というところも。自分としてはコンディションを合わせられていたので、マディソンではもっと上手くやれたのではないかなと悔しい想いです。」

垣田真穂（マディソン）のコメント

「ずっとオリンピックに向けて練習してきて、ネーションズカップでも金メダルを獲っていたので、メダルを目標としていました。でも序盤で自分が落車してしまったり、交代ミスがあったりして、思ったように走ることができず残念です。小さい頃からの夢がオリンピックでした。」



JOC-MPC プレスリリース

実際にその舞台に立って、走って、今まで頑張ってきた感情が込み上げるようなところもありました。レース前はいろんな感情がぐちゃぐちゃで楽しみではあったのですが。でも走ってみると、一瞬で終わってしまいました。オリンピックはみんながここに懸けてきている場所。普段の大会に比べてタイムや全体的なスピードも全く違いました。メダルを目指してきた中、実力を発揮できずに終わってしまったのは残念です。次のオリンピックで金メダルを獲得できるよう、頑張っていきたいと思っています。」

以上